

甲南病院  
自由診療によるピロリ菌専門外来のご案内

現在、日本人の2人に1人はヘリコバクター・ピロリ菌(H.pylori) (以下、ピロリ菌)に感染しています。ピロリ菌は胃の粘膜に炎症を起こし、慢性胃炎・胃潰瘍・胃がんの原因になります。国内で胃がんの患者さんは約21万人おり、ピロリ菌を除菌して胃がんを予防することで、苦しむ人を大幅に減らすことが可能と考えています。

日本ヘリコバクター学会の「H.pylori 感染の診断と治療ガイドライン 2009 改訂版」ではピロリ菌に感染している人を「ピロリ菌感染症」とした上で、「疾患が併発していない場合であっても、予防医学の観点からは原則感染者全員が治療対象になりうる」と除菌治療が推奨されています。

しかし、現在ピロリ菌除菌の保険診療の対症疾患は、胃・十二指腸潰瘍などの一部の疾患に限られています。ピロリ菌専門外来では、尿素呼気試験でピロリ菌の感染があるかどうかの検査を行い、ピロリ菌の感染を認めたときには薬で除菌をします。

費用は、医療保険が適用されないので全額自己負担となります。

### ピロリ菌専門外来の対象となる方

1. 胃がん予防のためピロリ菌の除菌を希望される方
2. ピロリ菌感染の有無を調べたい方
3. 他の医療機関でピロリ菌除菌を勧められた方

### 対象外の方

1. 胃潰瘍や十二指腸潰瘍の治療を受けているか治療経験のある方  
胃マルトリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後の方  
(保険適応ですので、消化器内科の外来を受診してください。)
2. 現在、胃がんを治療中の方  
(胃がんの治療が終了してから、ピロリ菌外来を受診してください)

### 診療料金および診療日等

1. ピロリ菌専門外来は、保険適応外ですので、全額自己負担です
2. 他の外来受診日と同じ日にピロリ菌専門外来を受診することはできません。

また、ピロリ菌専門外来と関係のないお薬を処方することはできません。

3. 1回(検査及び投薬・通院2回)の除菌に関する金額は約24,000円です。

当日朝食は摂らないでお越してください。

特に指示の無い場合は、いつも服用している内服薬は、通常通り服用してください。

内服薬に関して、ご心配な方は予約時に担当者にご相談ください。

診察日及び診療時間：金曜日の午前9時～9時30分

予約制ですので、事前に予約をお取りください

予約方法

予約センター：電話 078 (851)-0122

FAX 078 (854) 4158

## ピロリ菌検査

ヘリコバクター・ピロリ菌感染の検査

尿素呼気試験

## ピロリ菌の除菌処方

一次除菌	ランサップ(タケプロンカプセル(30mg) 2錠 アモリン(250mg) 6錠 クラリス(200mg) 2錠/分2) 7日間
二次除菌	パリエット(10mg) 2錠 サワシリン(250mg) 6錠 フラジール(250mg) 2錠 /分2 7日間